

## 平成26年度 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)効果検証

1	事業期間	平成27年3月～平成28年3月
2	効果検証の時期	平成28年6月・7月(2回)
3	効果検証の方法	マネジメントサイクル(P・D・C・A)を実施
4	効果検証の体制	鯉ヶ沢町地方創生推進会議(総合戦略推進組織:外部有識者会議)で検証

計画 (Plan)				実行 (Do)	評価 (Check)	改善 (Action)	
No	事業の名称	事業費 (交付金)	事業の概要・目的	重要業績評価指数 (KPI)	事業実績	検証・評価	今後の方針
1	鯉ヶ沢町総合戦略策定事業	4,645千円 (4,469千円)	良質な雇用の創出と地域の活性化につながる産業を創りだす。	—	○期間 平成27年5月～12月 ○内容 ①鯉ヶ沢町地方創生会議(11回) ②人口ビジョン策定支援業務委託 ※アンケート(意識調査) 町民2,000名 地元高等学校170名 ③各課ヒアリング(2回 他) ④鯉ヶ沢町総合戦略策定	創生会議で洗い出された町の弱点、人口ビジョンによる将来人口の増減から、新たな産業や雇用の創出など、町が人口減少抑止のために進むべき方向性を示したものとなった。	実施事業について、PDCAサイクルを用いて検証・評価を行い、必要に応じて総合戦略を改定する。
2	観光振興基盤強化事業	観光協会 14,000千円 (14,000千円) 海の駅改修 9,666千円 (9,666千円)	観光振興を担う組織体制を強化し、誘客促進を図るとともに、管理している観光拠点となる施設の整備を進めることで利用者への充実したサービスの提供と売り上げの向上に努める。	それぞれ前年の4%増 ・観光客入込数 ・海の駅売り上げ ・観光案内所問合せ	○鯉ヶ沢町観光協会補助事業 ①観光産業受入強化事業 ②観光サービス人材創出事業 ③駅前観光案内所運営事業 ④誘客促進事業 ⑤観光振興事業 ⑥交流促進事業 ⑦地域観光商品開発事業 ○観光客入込数……平成26年度=671,563人 ・前年比1.9%増 平成27年度=684,126人 ○海の駅売り上げ……平成26年度=373,926千円 ・前年比0.3%増 平成27年度=375,091千円 ○案内所問合せ件数……平成26年度=2,362件 ・前年比56%増 平成27年度=3,700件 ○海の駅わんどトイレ等改修事業	苦戦している観光事業ではあるが、前年比を上回っていることは評価ができる。しかし、KPIを達成するためには、施策(戦術)の展開と、戦略及び組織体制の再構築が望まれる。	継続した雇用対策や組織体制の強化と充実を図り、事業内容の拡大や充実はもとより、停滞している地域経済に貢献できるよう新たな事業にチャレンジしていく環境づくりを進める。
3	児童医療費無償化事業	6,710千円 (5,927千円)	育児世帯の経済的負担を軽減し、将来にわたり子育てしやすい環境づくりを進める。	満足度をアンケート形式で比較 ・前年比2%増を目指す。 ・2年目以降は下落しないようにする。	○医療費無償化に係るシステム改修業務委託 ○乳・幼児のほか、小学6年生まで全ての児童を対象に医療費を無償化。(現物給付) ○満足度調査 ①対象者:小学校在籍児童の保護者 271名 ②回収率:90.0%(回収数=244名、無効1名) ③満足度:非常に満足・満足=76.7% どちらともいえない=12.3% 不満・非常に不満=10.7% ④無回答:0.3%	出産を考える時に重要なポイントであり、子育ての安心感醸成や疾病の重症化予防に十分貢献したと考える一方で、コンビニ受診の増加が予想されるため、その対策が必要。	保護者の満足度は高い結果であったが、より子どもを産み育てる環境づくりを醸成していくため、段階的な年齢拡充を見据えて事業展開を図っていく。

計画 (Plan)					実行 (Do)	評価 (Check)	改善 (Action)
No	事業の名称	事業費 (交付金)	事業の概要・目的	重要業績評価指数 (KPI)	事業実績	検証・評価	今後の方針
4	健康管理システム 導入事業	6,403千円 (6,402千円)	健康で健やかな生活を送るため、システムを導入し、全市民の健康状態を管理し、生活習慣病予防・ガン検診向上に努め、短命の町返上を目指す。	健(検)診受診率を前年 比で上回る	○ソフトウェアの開発 ○健(検)診結果及び健康状態の記録(妊産婦含む)	市民の健(検)診結果を管理し、健康増進と受診率向上に貢献するシステム導入は有効と考えるため、システムをフル活用し、効果的な健康増進事業の展開と受診率の向上に期待。	システムを利用し効果的な施策を実施し、健診受診率の向上に努め、データを活用した生活習慣病対策を実施する。 母子記録を管理し、子育てを効果的にサポートする。
5	外国人旅行者受入 態勢構築事業	3,000千円 (3,000千円)	外国人旅行者の増加に伴い、外国人が興味を持つ和食に地方の料理と薬膳を加えた新たな料理を開発し、外国人旅行者の誘客促進を図り、低迷する各産業分野へ相乗効果を期待するもの。	料理の開発 ・オリジナル浜ちゃんこ ：数種類 ・薬膳料理の開発 ：数種類	○「舞の海」がプロデュースしたオリジナル鍋料理の開発と県推奨「だし活」の活用 ・舞の海ふるさとちゃんこ鍋：5種類 ・ビデオメッセージ等制作 ○薬膳料理のレシピ開発 ・地物山菜や地場産品を活用：3種類 ・フォーラム(山菜を活用した地域振興と啓発(資源の枯渇)	オリジナル料理の開発は、外国人誘客のパートナーとしてインパクトはあるため、広報活動と取扱店の拡大に努め、早期提供を期待する。食材が豊富であり、将来的にはレシピの改善や追加も必要では。	名物料理として定着できるよう「舞の海」氏を活用したイベントの実施と、店舗や宿泊施設に見合った活用を進め、外国人旅行者の取り込みに役立たせる。
6	コミュニティ ビジネス支援事業	2,000千円 (2,000千円)	過疎化・少子高齢化が著しい集落において、栽培していた「栗」を新たな資源として活用することで高齢者でも活躍できる環境づくりを進める。また、所得向上と安定した生活ができるよう集落全体で取り組むことにより、地域が抱える課題を自ら解決するためにコミュニティビジネス化を進める。	各種調査研究 ・品種と成分分析 ・収穫量と作付面積 ・素材活用の研究	○公立大学法人 青森公立大学へ業務委託として各種調査・研究を依頼 ○収穫した栗を地元業者等の協力のもと、試作品をイベント等で振る舞い。(大好評・県内各地好反応)	試行的に実施した地元業者と連携したイベントは反響が大きく、効果的なPRに繋がり県内の認知度が高まった。しかし、高齢化が進む集落の人員の確保、樹木の植栽など検討が必要と考える。	調査研究結果を基に、品質や生産性の向上に取り組み、商品価値を高めるとともに、高齢者が多いことから、作業や動物対策など地元と一体となって取り組み、目的達成の機運醸成を図っていく。